

# SUNNYSIDE CAMP

神の畏敬の念に圧倒され続けて・・・

デービッド・タン

毎年「アルバータの秘宝」について、皆さんにこうして近況報告させていただく機会を光栄に思います。今年カルガリー日系福音教会誕生52周年を迎え、私たちはカルガリーとブリティッシュコロンビアの日系コミュニティにおけるミニストリーについて振り返ってみることができました。当地の日系コミュニティにて、神様の福音を宣べ伝えていくその展開と方向性において、サニーサイドキャンプミニストリーの存在が如何に不可欠であったかが証されました。そして60年以上経った現在も、神様はこの小さいけれど実り多きミニストリーを通して奇跡を起こし続けています。来る年も来る年も、神様がサニーサイドキャンプへの参加者にもたらすインパクトは、想像を超えるほどの神様の愛と力の証です。

2017年以来、高い参加者数が続いています。ここ数年キャンプ参加者は270から290名です。なんとという恵みでしょう！英語のスピーカーにデービッド・ヤング氏とご家族を、日本サイドにはシゲル・スズキ牧師をお迎えすることができ光栄でした。両氏とも、キャンプ全体に上手に関われ、ご自身やご家族共々、様々なキャンパーたちや活動に溶け込まれました。二人の洗礼に立ち会うことができたことも恵みでした。コーダイン・ワルコットさんと、エミコ・ボーイズさん、おめでとうございます。さらに、二人のキャンパー、タイソンとローレンが、それぞれイエス様を自分たちの救い主として受け入れ信仰を告白しました！

このミニストリーに対する皆さまの素晴らしいご支援に改めて感謝を申し上げます。神様がサニーサイドキャンプを引き続き祝福し、その御業をこうしてくる年もくる年も証しできることの素晴らしさを心から感謝します。\*



食事の準備をするスタッフとキャンパー

# 北東日系 クリスチャン 修養会 2019

7月27日の朝、トロント日系福音教会は1990年代に時計の針を戻したかのような懐かしい雰囲気と笑い声に包まれた。それは、1995年までバンクーバーで牧会をされていた渡辺睦夫牧師が

今回の修養会の講師として登壇して下さったが、渡辺家がかつてトロントを訪問された際の懐かしい写真が修養会2日目の朝にスクリーンに映されて、朝から会場が盛り上がった瞬間でした。

といっても、郷愁に浸っていた時間はわずか。今回の北東日系クリスチャン修養会は「スピリチュアルに生きる」というテーマで、神学生の宿舎かと錯覚する(?)ほどの非常に内容の濃い学びが一日半続きました。①「神様の献身に献身して生きる!」、②「聖霊を知り、信じる!」、③「聖霊をもっと知り、もっと信じて喜ぶ!」、④「聖霊に満たされ導かれて!」の4回のセッションを行い、御霊に満たされ、導かれていくというのはどういうことか、またそのためには自分たちはどうすべきかを改めて考えるよい機会となりました。昨年に引き続き、テーブルディスカッションの時間を各セッションの中で設けたので、受けた祝福をお互いに分かち合う時が持てたことも感謝でした。

また、「ディボーションのすすめ」というワークショップも開かれました。これは以前渡辺師が日本の教会で、信徒一人一人がディボーションを定着させるため、5年ほどかけて行ったキャンペーンの総集編のような講座。このワークショップは大変好評でしたが、1時間半という短い時間におさめるために駆け足となってしまいました。そのため、渡辺師のご厚意により、渡辺師が日本で同内容の講習会をDVDに収録していただいたものを用いて、フォローアップ研修会を行うことになりました。

10月5日(土)の午後、フォローアップ研修会はトロント日系福音教会にて、方々から集まった20名ほどの兄弟姉妹とともに行われました。7月の修養会に参加された方が大半でしたが、修養会には参加されなかった方もいらっしゃいました。はじめのセッションで修養会でのワークショップの復習、その後は網羅しきれなかったことも話され、またディボーションの実践のセッションもあり、非常に濃い内容かつ実践的な研修会となりました。ディボーションとは何か、ディボーションをした後の生活、そしてそのディボーションを実際にどのように進めていくかを、わかっているようでわかっていなかったことを体系的に学ぶことができました。今後の信仰生活の中で大いに用いられる会となった、というフィードバックをいただくなど、有意義な時となりました。(日本でDVDを編集して下さった兄弟に感謝です)

これからも北東日系クリスチャン修養会のために、特にはっきりしたビジョンが示されるようにお祈りください。ご意見や励ましのことば等ございましたら、委員までご連絡ください。

実行委員会Email: [nencc@googlegroups.com](mailto:nencc@googlegroups.com) \*

## 理事長からの言葉

ノリ・金城

CJMが本格的な伝道活動組織になってから、もうすぐ75周年を迎えようとしています。その4年前、BC内陸部の荒涼たるゴーストタウンで困惑している日本人家族に寄り添うよう、神様はマーガレット・リッジウェイ（27歳）の上に手を置かれました。日系の市民も非市民もみんな政府の命令によってBCの西海岸から疎開するように指示されました。マーガレットは、若い人、年配の人関係なく、すぐに多くの疎開者たちと仲良くなりました。子供たちのために作られたハッピーアワーバイブルクラブやユース活動、婦人のクラフトクラブ、どれも魅力的で多くの参加者がありました。その後数年間は、多くの日本人の若者や大人の人生において、福音伝道と霊的覚醒の特別な時間となりました。日本人が地方や国中に散らばり始めると、宣教師が雇われるようになりました。多くの一世もまた福音に触れられ、日本語で牧会する牧師が必要になってきました。

日本人が全国に移り住み始めるにつれ、いろいろな都市に教会が組織されました。

今日、私たちはもう昔のように宣教師を雇いません。地元の日本人教会と、福音伝道と活動のビジョンを共有し、CJMは全国の全加盟教会と霊的な一致をもって協力しています。毎年、たいていバンクーバー、カルガリー、エドモントン、トロントの4都市にある教会が主催する恒例のCJM年次総会、カンファレンスが行われる際、牧師やリーダーたちが仲間と共にミニストリーや交わりを独自のやり方で楽しんでいるのを見て元気づけられます。CJMが牧師やリーダーとその配偶者の旅のため、50%の往復交通費補助金を提供することができていますが、それは特に小さな加盟教会や交わりの多くの牧師やリーダーの役に立っています。現時点でこのようにできているのは、みなさんのお祈りと経済的な支援のおかげです。カナダでの全般的な日本人福音宣教を支援し続けられるよう、みなさんからCJMへの誠実で寛大な寄付をお願いします。\*

## カルガリー日系人福音教会

2203-15A St. S.E., Calgary, AB  
日曜礼拝：午前10時より  
牧師：堀内友幸（日本語）  
電話：587-434-1783  
tomhoriguchi@hotmail.com  
www.calgaryjapanesegospel.com



### 堀内友幸牧師

カルガリー日系人福音教会は教会創立52周年記念を2019年8月31日に持ちました。

1967年に芥川ロバート・ちえこ牧師夫妻によって私達の教会が法人として設立されました。カルガリーで教会が組織される以前は、CJMの宣教活動は主にレスブリッジとその周辺のサトウダイコン農場で行われていました。

これらの開拓者達は、レスブリッジ市を囲む農場や村の日本の家を訪問し続けました。時折の若者の集會が開催されたとき、60～80人の日本人の若者が集まり、社会的な交流と福音のメッセージを聞いたのです。当時、多くの日本人が救われ、多くの人々が聖書学校に行き、牧師、宣教師、教会指導者になりました。

1950年代半ばまでに、多くの日本の家族が農場を離れてカナダ東部に移動してカルガリーやエドモントンなどの大都市で仕事を見つけました。

1961年にレスブリッジからカルガリーに移住した芥川ロバート牧師の忠実な宣教の下で、日本語部会衆は次第に成長しました。CJMは、1968年にカムループスからノリ&ブランチ金城夫妻をカルガリーに移し、北川ジム・ノーリーン夫妻、コガワゴードン・リリアン夫妻と共に成長する子供たちの伝道にリーダーシップを与え、英語部を発展させました。教会が成長し続けると、神の恵みによって牧師達と指導者達が現在の教会に貢献してきました。建物は1986年に購入されましたが、現在では実質的にそのサイズを超えています。

今日、私たちは先駆者からキリストの全人類の罪の身代わりの十字架の故に私達の罪が赦されたことを信じる者が救われる福音の遺産を受けてきました。私達も次の世代にこの福音の遺産を受け継ぐように受けたものを与えているのです。それは福音を全世界に宣べ伝える為なのです。

私達は開拓者達からこの祝福を受けてきたのです。そして昔おられ、今もおられ、そして後に来られる神に賛美と栄光を捧げます。\*

## モントリオール日系キリスト教集会

Peoples Church 地下にて  
2097 Union Ave., Montreal, QC  
集会：毎月第3日曜午後2時より  
フェローシップ/イベント：毎月第1日曜  
吉野治代 514-342-8509  
montrealjapanesechristian@gmail.com



静まって、わたしこそ神であることを知れ。（詩篇 46：10）

これが今年度のわたしたちのテーマ聖句です。私たち一人ひとりに、またグループとして神が何をなさって下さるのか、神を信頼して待つことを一緒に学びたいと思っています。聖書の学びの会とフェローシップの集會を月2回、行っています。4月21日はイースターのお祝いがありました。7月7日はBBQの集まりでは、日本に戻られる親しい二人の友だち、T君とOMFミッションナリーのライカさんの歓送会もありました。

グループメンバーのAさんはとても活発なフレンドリーな若い女性です。彼女は今まで、多くの友達を私たちの集會に誘ってきました。この数ヶ月、何度か自分の信仰の話をクリスチャンでない友達に話す機会が与えられました。Aさんは今、伝道者としての賜物を自覚し始めています。神に感謝します。

月一回のお母さん達を対象にした子育てコーチングも順調に続いています。小さなグループですが、ある一定のお母さん達が毎月集まり、『聖書から学ぶ 子育てコーチング』という本を使って、お母さんたちが自由に話し合える場所になっています。20年宣教師として日本に住んでおられたあるカナダ人のご夫妻のご主人は、カナダに帰国後10年ほどモントリオール近郊の教会の牧師をなさっていました。この夏に退職なさり、今モントリオールJCFをどのようにサポートして下さるのか、祈って下さっています。神の導きをお祈りください。また、グループの将来のためにもお祈りください。二カ国語の礼拝を始められるよう、将来的には教会が立ち上げられるよう神の導きを祈っています。\*

## バンクーバー日系福音教会

425-11th St., New Westminster, BC V3M 4G1  
 日曜礼拝午前11時より（日本語/英語）  
 福迫徹也牧師（日本語部）  
 604-517-4578 vjgc@telus.net  
 Website: www.japanesegospelchurch.com



今年の5月24日(金)と25日(土)に、私たちの教会を会場にしてCJM年次総会と集会を持つことが出来き、神様の御名をあがめました。年々、少しずつですが、CJMに参加する教会が増えて来ていることを感謝しています。しかし、一方で、ここ数年、カナダにおける日本人伝道と教会形成の難しさを感じています。例えば、私がこの教会の牧師として赴任した2001年では、バンクーバー地域に12の日本人教会(毎週、日本語で礼拝をしている教会)がありました。現在では8つに減っています。また、多くの日本人教会は人数的な成長を見ることが出来ていません。このことは、カナダの他の地域の日本人教会の現状でもありますし、カナダだけでなく北米全体、更にその他の国々において行われている日本人デラスボラ宣教に共通して言えることであると感じています。

その理由としては、日本人の海外移住や海外駐在者が減少していることも挙げられますが、それ以外にも各地域にある教会のメンバーの高齢化と移動の多さ、信仰継承の難しさ、新しく救われても帰国する人の多さなどの原因があるように思います。現在、カナダ国内で毎週、日本語で礼拝をしている教会は20弱だと思えますが、その中には無牧師の教会や人数が減少している教会もいくつもあります。現状が続くと、10年先、20年先には更に多くの日本人教会が閉鎖することにもなりかねません。勿論、神様はそれぞれの時代と場所にキリストのからだである教会を建てられ、そこに神の民を形成されていますから、例え、教会が閉鎖されることになっても、天にある目に見えない教会の中では閉鎖されていません。しかし、私たちはこの地上での生活の中で目に見えるキリストのからだである教会を通して、神様のご計画である福音宣教を進めていくように求められています。今後、私たち、カナダにある日本人教会がどのようにして、主イエス・キリストの福音宣教をそれぞれの場所のニーズに応えた形で進めて行くのかを、共に考え、協力していきたいと願っています。\*

## ウィニペグ日系アライアンス教会

549 Gertrude Ave. W., Winnipeg, MB R2L 0M9  
 (Trinity Baptist Churchにて)  
 日曜礼拝：午後2時より  
 Miyako Ogasawara - Leader  
 winipegjapanesechurch@gmail.com



### 私たちの礼拝会場

#### 小笠原都子

私たちは毎週日曜日の午後2時よりトリニティバプテスト教会の地下をお借りして礼拝を行っています。教会をお借りする前は牧師宅で家庭集会の時を持っていたのですが、事情により家庭集会を続けることができなくなったため、すぐ隣りにあるトリニティバプテスト教会に相談に行ったところ、当時の牧師が「伝道のためなら喜んでお貸しいたします」と快諾してくださり、教会地下での礼拝がスタートしました。1967年のことです。以来50年以上の長きに渡り続けて同じ場所で礼拝を行うことができるのは、何よりもトリニティバプテスト教会の皆さんの愛と寛容のおかげだと感謝しています。

1967年から教会に通い続けている方にお聞きしたところ、トリニティバプテスト教会も50年の間には当然牧師も教会のメンバーも変わっているのですが、代が変わっても「ウィニペグ日系アライアンス教会に教会の使用を許可すること」と申し送りされているそうです。

トリニティバプテスト教会の皆さんが礼拝後に地下でお茶の時間を持ち、その後に私たちがそこで礼拝を行うのですが、地下に行くといつもきれいに掃除がしてあり私たちが使いやすいように椅子を並べておいてくださっています。また、ある日いつものように礼拝の準備をしようと早めに行くと、トリニティバプテスト教会の役員の方が私たちを待っていました。「よかったらこれを使ってもらえるかな？ 気に入ってもらえたらいいのだけど」そこには説教台がありました。それまでは毎回上階の礼拝堂から説教台を担いで階段で運んで使わせていただいていた。あの重い物を毎回階段で運ぶのは気の毒だから作ったよ、とおっしゃいます。その説教台はその方の手作りだったのです。私たちが感謝のうちに使わせていただいているのは言うまでもありません。

現在は私たちの他に中米の方々集まりのためにも会堂が使われており、以前はアフリカの方々も礼拝を行っていました。必要としている人に快くドアを開けて愛を持って迎え入れるその姿を通して私達は多くのことを学んでいます。\*

## ビクトリア日系人教会

877 North Park St., Victoria, BC  
 (First Baptist Churchにて)  
 日曜礼拝：午後1時30分より  
 Eメール: ymishiguro@shaw.ca  
 牧師：石黒豊 778-265-6092  
 www.vicjapanesechurch.com



石黒 豊

主の素晴らしい御名を賛美致します。  
 この半年間を振り返りますと主はビクトリア日系人教会を豊かに励まし、導いて下さいました。主のなされた御業を見させて頂く時、感謝で一杯になります。

ヨハネ10章28～30節 『わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは決して滅びることがなく、また、だれもわたしの手から彼らを奪い去るようなことはありません。わたしに彼らをお与えになった父は、すべてにまさって偉大です。だれもわたしの父の御手から彼らを奪い去ることはできません。わたしと父とは一つです。』

主は信じる私達にこの様な素晴らしい約束をして下さいました。主の救いにあづかる者の幸いを示して下さいました。今年の4月イースター礼拝にて多くの人に見守られ一人の姉妹がバプテスマを受けられました。イースターの祝いと姉妹の洗礼感謝を持ち寄りの夕食で、主にあつて楽しい時を持つことが出来ました。姉妹の心からの救いの証しを聞かせて頂き、主の御名の素晴らしい事を再確認する事が出来ました。皆で主の御名を賛美致しました。

また、主は礼拝式に新しい方々を送って下さっています。先日素晴らしい交わりの中にありました2組のご家族が都合でビクトリアを離れる事になりました。しかしその次の週に突然、新しいクリスチャンのご家族を主は送って下さいました。主が私達の群れを覚えて下さる優しさに触れ、心から感謝致しました。CJMの働きを通してカナダにある教会の方々との親睦を深め、主にある交わり、祈りを通して、それぞれの地にての主の働きを見させて頂けることは大きな励ましです。力となります。これからもCJMの尊い働きの上に豊かな主の導きがあります様にお祈りしています。またビクトリア日系人教会の歩みの為にお祈りに加えて頂ければ感謝です。宜しくお願い致します。\*

## エドモントン日系キリスト教会

9802—76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5  
 (Zion Baptist Community Church にて)  
 日曜礼拝: 午後2時より(バイリンガル)  
 牧師: 田村寿宏 電話: 587-986-8161  
 Eメール: [tamuratoshihiro1981@gmail.com](mailto:tamuratoshihiro1981@gmail.com)  
 教会HP: [www.ejcc.ca](http://www.ejcc.ca)



主にある兄弟姉妹の皆様へ、主の豊かな恵みと祝福をお祈り申し上げます。今年のアルバータ州は例年に比べて雨の多い毎日でしたが、その分恵みの雨もたくさん降り注ぐ夏となりました。まずはじめに春から夏にかけて二組の結婚式を執り行わせて頂く恵みに与りました。AnnaちゃんとStephan、そしてダニエルさんと愛ちゃん本当におめでとう！彼らの結婚式を通して主が彼らをどのように導き、結び合わせ、祝福してくださったのか、そこに現わされた主の豊かな栄光に改めて大きな励ましを受けました。また今年は例年行われる様々なイベントに加えて、宣教報告のために一時帰国中の中野ゆり宣教師をお迎えする恵みにも預かっています。

ゆり姉はEJCCの前任牧師であり、現在は宣教師として日本で主に仕えています。彼女の宣教報告と証しにはいつも励まされていますが、今年はそれに加えて彼女が披露してくださった腹話術に感銘を受けました。相棒のダッキーと共に教会の小さな子供たちのために聖書のお話しをしてくださいましたが、どの子もゆり宣教師とダッキーの楽しいお話しに聞き入っていました。彼女の話によると子供の頃にサニーサイドキャンプで腹話術を見て以来、いつか自分もやってみたくてずっと思っていたとのこと。その夢は今年のサニーサイドキャンプで実現しました。キャンプではお馴染みのタレントショーで相棒のダッキーと素晴らしい腹話術を披露してくださりました。神様は彼女のこの素晴らしい賜物をさらに祝福し、これからますます日本の子供たちのために豊かに用いてくださるに違いありません。子供の頃にキャンプで経験したことが一つのきっかけとなり、やがて豊かな実を結ぶに至るその過程の中に主の知を超えたご計画と恵みを改めて覚えます。主がこれからもサニーサイドキャンプをはじめとしたCJMの様々なミニストリー、またそれぞれの教会の働きを祝福してくださいますように、その中でさらに豊かな実が結ばれ、主の御名が褒めたたえられますよう心からお祈りいたします。\*

## グレース日系クリスチャン教会

407 Cougar Street, Banff, AB  
 (Banff Full Gospel Churchにて)  
 日曜礼拝: 午前9時より  
 牧師: 榎実 403-707-6132  
 Eメール: [banffgjcc.enoki@gmail.com](mailto:banffgjcc.enoki@gmail.com)



親愛なるCJM諸教会の皆様へ  
 主の御名を心から崇めます  
 今回は感謝の報告と最近の教会としてチャレンジをお分ちしたいと思えます。遡ること4月になりますが、ビザの更新拒否に伴い、私達夫婦、またGJCCにとって信仰が試される日々が続いていました。(この記事が発刊される頃にはIRCCからの結果通達が届いているかと思いますが覚えてお祈りくださいれば幸いです) カナダへ亘り5年目の教会シーズンを迎えた矢先の出来事で教会の中でも動揺がありましたが、思い返せば、主の恵みが満ちる月日でもありました。この数ヶ月、今までにないほどの祈りが積み、ある姉妹か

らは職場での祈り会において毎回祈っています！との励ましのメールを頂いたり、また教会の祈り会においても新しいメンバーが加えられるなど、この試練を通じてでなければ見えなかった信仰の実が見え始めていることにも感謝しています。8月中旬に無事再申請を行い、今は結果を待っている最中ではありますが、主がこの事においてもGJCCに最善の道を開いてくださることを信じて歩んでいる次第です。また、今年はGJCCの若い世代が3名、信仰告白と洗礼の決心をしてくれたことも大きな恵みでありました。収穫に伴い、今まで以上に働き人が求められるシーズンに入っていくと感じています。特に異文化での日本人教会のアイデンティティーを貫く中で、言語や文化の壁が2、3世代目から起こり始め、奉仕者においても柔軟な姿勢と導く能力が求められていますが、聖霊様の助けにより頼む中で、教会としての方向性とアイデンティティーが失われることなく、次世代に信仰のバトンが継承されていくように覚えてお祈りくだされば幸いです。主は良いお方です。\*

## グレースポイントフェローシップ

### カルガリー日系人福音教会 英語部

2203-15A St. S.E., Calgary, AB  
 日曜礼拝: 午前10時より  
 牧師: ブライアン・ラベンダー(英語)  
 403-606-5483 [brianlavy@me.com](mailto:brianlavy@me.com)  
[www.calgaryjapanesegospel.com](http://www.calgaryjapanesegospel.com)



「どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。」ローマ人への手紙15章13節  
 昨年は変化と不確実性の一年でしたが、神様の恵みと希望、そしてすべての理解にわたる神の平安が途絶えることはありませんでした。我が教会はAssociated Gospel Churches of Canada denominationを去り、現在はChristian and Missionary Allianceとパートナーシップを組んでいます。移行期は忙しかつたですが、神様が私たちがより成長し効果的にコミュニティーに届いていくよう正しい場所に私たちを置いて下さったと信じています。

私たちは新しい教会堂、又は新たに建築する可能性のある教会堂を求めています。神様が御心にある道へ私たちを導い、必要を満たして下さるよう皆様もお祈り下されば幸いです。もし皆様の中で一億円を私たちの教会堂のために寄付して下さる方がおられたら、大変ありがたいです。タックスレシートを発行させていただきます！今年も、約300名の参加者と共にサニーサイドキャンプを行うことができました。2019年サニーサイドキャンプの様子は、以下のYouTubeのスライドショーにてご覧頂けます。

[https://youtu.be/6qe\\_5kUVZ0A](https://youtu.be/6qe_5kUVZ0A)

また私たちは教会として50周年を迎え、新たにヤングアダルトのミニストリーを発足しました。50周年記念では、各年代からそれぞれスピーカーが話して下さり、50年間を導いて下さった神様の忠実さを開けたことは非常に素晴らしかったです。またカルガリーで生活している日本人学生を対象にしたミニストリーも発足しました。約12名ほどの学生が市内の大学から教会に出席しました。カナダと日本にいる日本人に届いていくという目的のために、私たちもみなさんと共に祈り活動していきます。私たちが喜びと平安と希望で満たして下さる神様は、日本に対しても同様のことを切望していると思います。私たちがその目的に忠実に働く時、神様は私たちを通して働いて下さいます。\*

## メノナイト日本語キリスト集会

12246-100th Ave., Surrey, BC V3V 2X1  
(Living Hope Christian Fellowshipにて)  
日曜礼拝：午後3時より  
牧師：ジェラルド・ニューフェルド  
電話：604-596-7928  
Eメール：grneufeld5@yahoo.ca



多田美和子

毎年恒例になりました、メノナイト主催のMennonite Central Committee (MCC) フェスティバルがアボツフォードで開催され、私たちの教会からも有志が参加してきました。食べ物、植木鉢、果物、野菜、子供の遊ぶところ、音楽にオークションなど、数多くの出し物があったすごい混雑でした。その売り上げはすべて、難民救済や貧しい国の人々への寄付となります。ボランティアは半分くらいがお年寄りでした。

私たちの教会は毎年、寿司を出して協力していますが、恵まれない方々のために少しでも役に立てたかなーと思えました。

バハマやフロリダのハリケーンや日本の台風、その他被害に遭われた方々、本当に大変だと思います。何もできない自分に気づかされます。祈禱会で声を合わせて祈るしかありません。先日、「教会とは」という題で、説教を聞きました。もちろん、教会とは、神様がおられる所、自分を主張するのではなく、へりくだって皆が神のみ前に一致することだと思っています。神様が、教会を支えてくださる事を感謝します。神は中心にいて下さり、教会の必要を満たしてください。祈禱会、聖書の学びの時も、いろいろな話し合いをして、素晴らしい交わりの場になっています。いつも聖書から学び、それを実行するよう心がけ、お互いに信仰を高め合っていきたいです。感謝祭に洗礼を受ける決心をされた方々がおられます。これからも新しい方々に、福音を宣べ伝えることが出来るように、祈って行きたいと思います。\*

## ウェスリーチャペル日系教会

2385 Warden Ave., Scarborough, ON  
(Wesley Chapelにて)  
日曜礼拝：午後1時より  
牧師：持永美佐 電話：647-904-5496  
Eメール：misa.mochinaga@gmail.com



持永美佐牧師

ウェスレーチャペルフリーメソジスト教会では、昨年「信仰者の成長」をテーマとして、癒しと回心の道をゆっくりと歩んできています。神ご自身が私たちに成長を願っていますので、「自分は、そんなに成長しなくても、天国の隅っこに入れるだけで十分」ではだめなのです。聖書は、信仰の成長と教会の成長を結びつけていますことから、一人で成長するのではなく、教会全体として成長していくように作られているのだとわかります。そうした中で、イエス様の弟子になるということの意味「信仰が成長しない理由」「神様に喜ばれる生き方」「信仰は人生をどう影響するか」などと、多くのクリスチャンが日々悩んでいる質問を考えてきました。「私の信仰は飛躍的に成長していて、自分の信仰生活にとっても満足している」、と言える人は、稀ではないでしょうか。ほとんどの場合は、逆のことが当てはまると思います。ピーター・スキヤゼロ牧師が、「情緒的に健康な霊性」という本を書いています。

彼は、私たちの信仰が成長しない理由の一つは私たちが情緒的に健康でないからだ、と説明しています。日常生活の忙しさに追われて、神様との関係を怠っている現実の中で苦しんでいるクリスチャンにとって、スキヤゼロ牧師の学びは神様の恵みです。「私との関係を深めなさい」という神様の招きを感じ、この本の教えに基づいた説教シリーズを今年の春から始めました。

この季節をとらえて、私たちがもっとキリストに似る者に変えられて成長できることを、祈り続けています。信仰の成長と心の回心は、神様のみがなさる働きですが、その働きが私たちの教会で少しずつ見られるようになってきています。皆さんがお茶の交わりを楽しんだり、お互いを支えながら助けあったり、イエス様のみ声をもっとよくわかるようになりたい、み言葉をもっとよく理解したい、また神様に変えられたい、という言葉やお祈りを聴いたりするたび、心は感謝で溢れます。

祝福はそこで終わりません。年末に洗礼式を計画しています。キリストを中心とした友情の絆は、距離を超えて続くものだ、と神様に教えられました。また、素晴らしいゲストスピーカーのメッセージを聴く機会もたくさん与えられました。これからも、イエス様とイエス様の愛に留まり、心と力を尽くしてイエス様をもっと深く愛し、情緒的な健康を求め、お互いを赦しあい、隣人を自分のように愛し、言葉と行いでイエスを証し、そして、御言葉を聴くだけでなく御言葉を生きる教会になれることを祈っています。\*

## クロスオーバー日本人教会

1313 Ranchlands Way NW, Calgary, AB  
(Westview Baptist Churchにて)  
日曜礼拝：午後2時より  
牧師：谷口洋一 電話：403-455-0074  
Eメール：ymtaniguchi@hotmail.com  
www.crossoverjapanesechurch.com



次世代へ

谷口みゆき

「すべてのことには定まった時期があり、天の下のすべての営みに時がある。」(伝道者の書) 教会にも、それぞれの時期、季節があります。クロスオーバーは、主の支えと養いのなかで、11年の歩みを続けてきました。数人で始めた家の教会の時期、会堂で礼拝ができるようになった時期、学生たちであふれた時期、英語と日本語のバイリンガルの礼拝になった時期等々、私たちの教会は、色々なシーズンを通してきました。最近、トライアスロンのビデオを見ました。1位で走っていた青年が、ゴールの1/3マイルの所で、脱水状態で、倒れる寸前になります。

その時、後ろから走ってきた第2位の走者が、倒れかけていた青年の腕を取り、自分の肩にかけて、一緒に走り出したのです。助けてくれたのは、倒れそうになっていた青年の兄でした。そんな彼らを、3位の走者が追い抜き、ゴールします。そのあとを、兄は弟をかかえながら、ゴールを目指して走ります。お兄さんは弟を助けなかったら、1位になったでしょう。しかし、彼はそれを選ばず、弟を助けることの方を選んだのです。それだけでも、もう十分に感動的なシーンでした。しかし、私が、もっとびっくりしたのは、ゴールに入るところで兄がとった行動でした。弟を支えてゴールまで来た時、兄は弟の背中を押して、弟を先にゴールさせたのです。私はこの最後のシーンの中に、教会における年配の世代と次世代のあるべき姿を見たのです。年配の世代である私たちは、この兄がしたように、これからクロスオーバーをになってくれる新しい世代、若い人たちを、励ましサポートしていく使命があります。彼等と一緒に走り、倒れそうになったら支え、背中を押して、ゴールさせるような、そんなサポートができる年配世代になりたいというビジョンを主から頂きました。共に主にあつて一つとなり、パウロのように、朽ちない冠を得るために、目標を目指して、ひたすら走りつづけていきたいと願います。\*